

日常적으로お母さんに出す生活

学校から帰ったら
いつも通りお母さんに中出し。。

ほらっ！
さっさと出しちゃいなさい！

フルカラー母子相姦作品！ 夏目ベンケイ

息子の草率なため、朝からやらせてあげています

二回月もなるとお互いに汗やでもうグチャグチャです
毎回「を敷くのはこの為です

普段は、終わりますが

中出ししてきます



皆さん
はじめまして

うちは夫と息子と暮らす
3人家族、傍から見れば
どこにでもある普通の家庭です



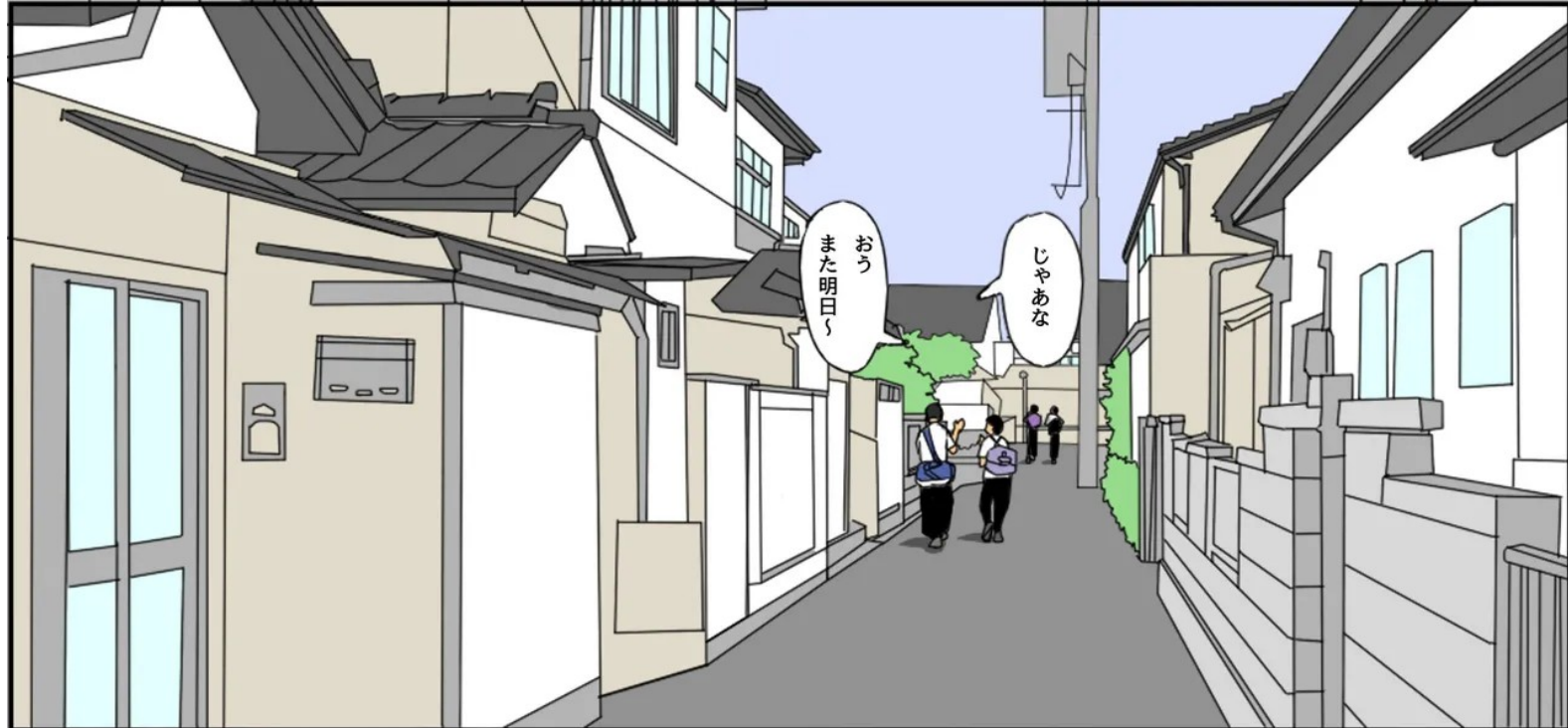
他には決して
言えない

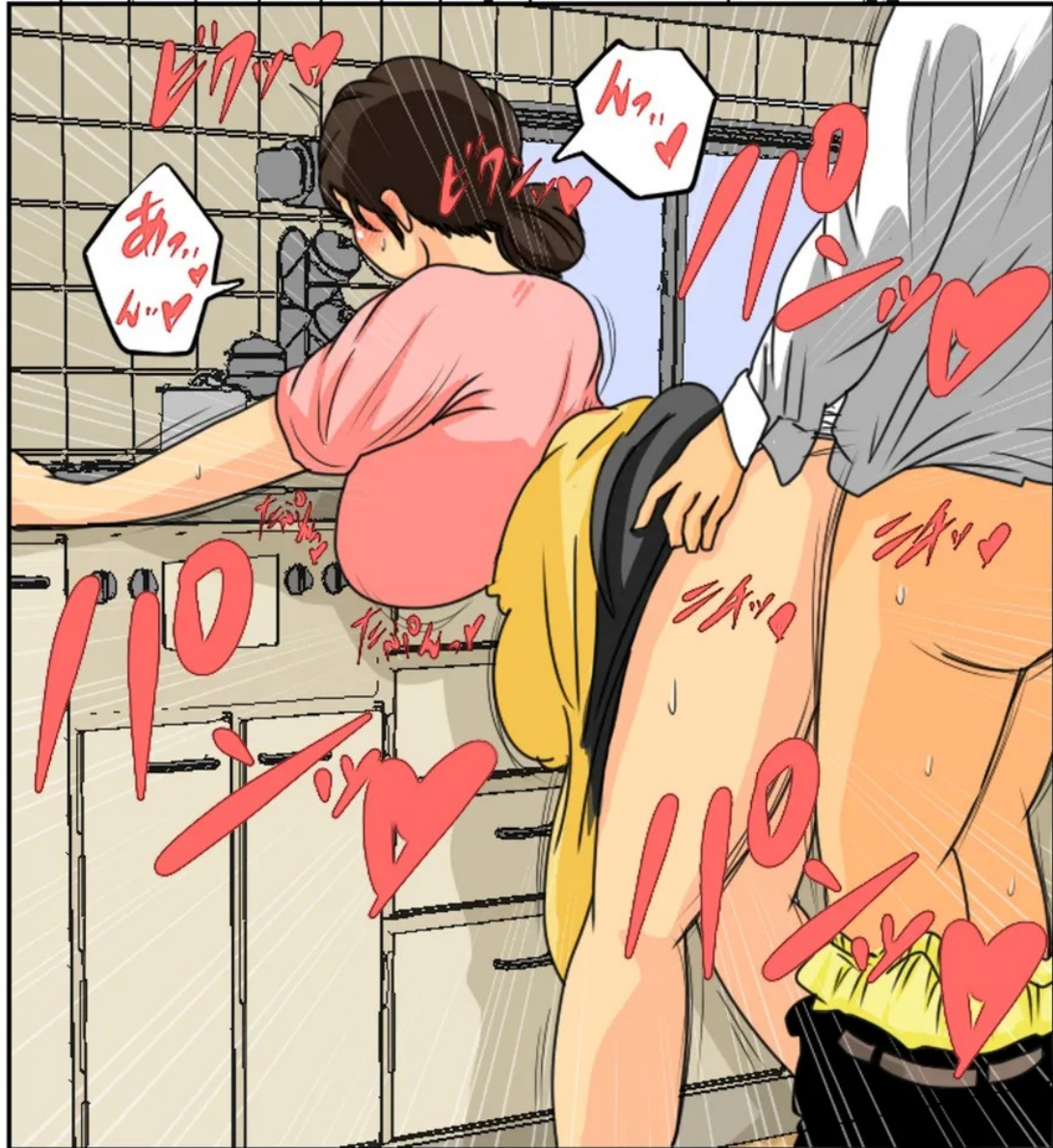
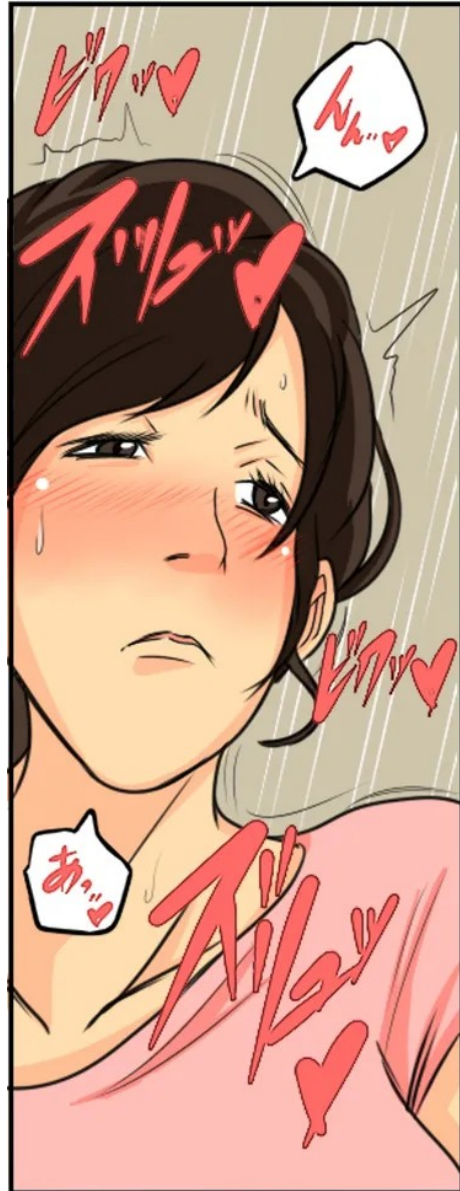


でも一つだけ...



ある秘密が一つだけ
あるんです...





はじまりは息子が
まだ幼い頃・

またやってる・

床に股間を擦りつけているのを
度々見る様になりました

不審に思い色々調べてみると
それが間違った性処理の方法だ
ということが分かりました

床オナニー?!

陰内射精障害・・・?

そして息子には
正しいオナニーのやり方を
教える必要がありました

お母さん・

ちよつと!そんな
とこ触っちゃダメよ

母親の私に対して
執拗に密着してくる
様になったのも
この頃からでした

夫は出張で家をあける事も多く
二人で過ごす時間が増えていました
母親としてこの子をしっかり育てようと必死で
その行動が異常な事だとその時には
気付くことができませんでした

ほらっ・・こうやって
コスって出してあげるの!
何か出そうな感じする?

う・うん

オナニーのやり方を覚え
息子は床に股間をこすり
つけなくなりました
しかし・・・

小さいのにちゃんと
精子は出るんだ・

それから息子は毎日のように私にオナニーを手伝わせる様になりました

お母さんじゃなくて自分で出せるように早くなりなさいよ

何度も・

何度も・

オナニーを手伝えば手伝うほど息子は私を強く求めるようになっていきました・

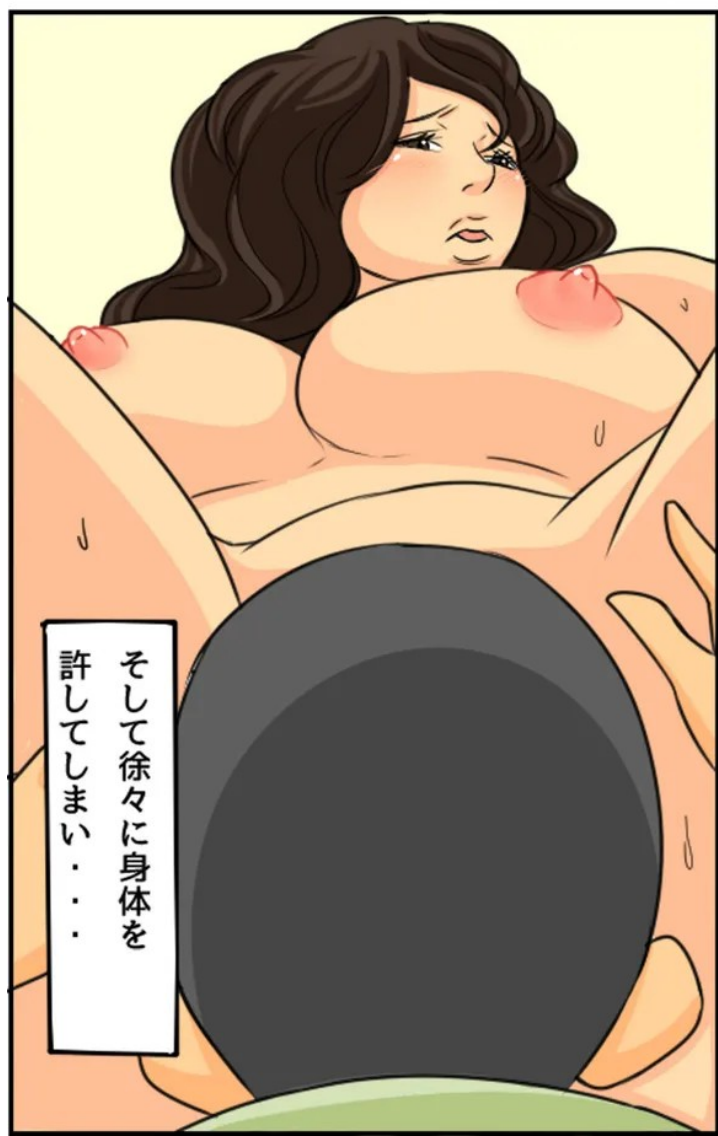
最初の内こそ一人でする様うながしていましたが一に日に増す息子の性欲には凄まじいものがあり・

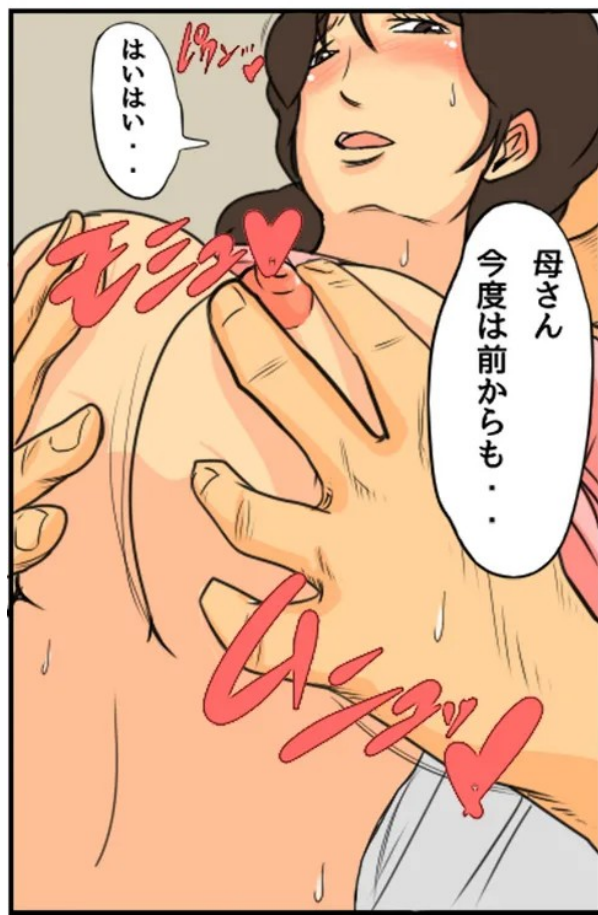
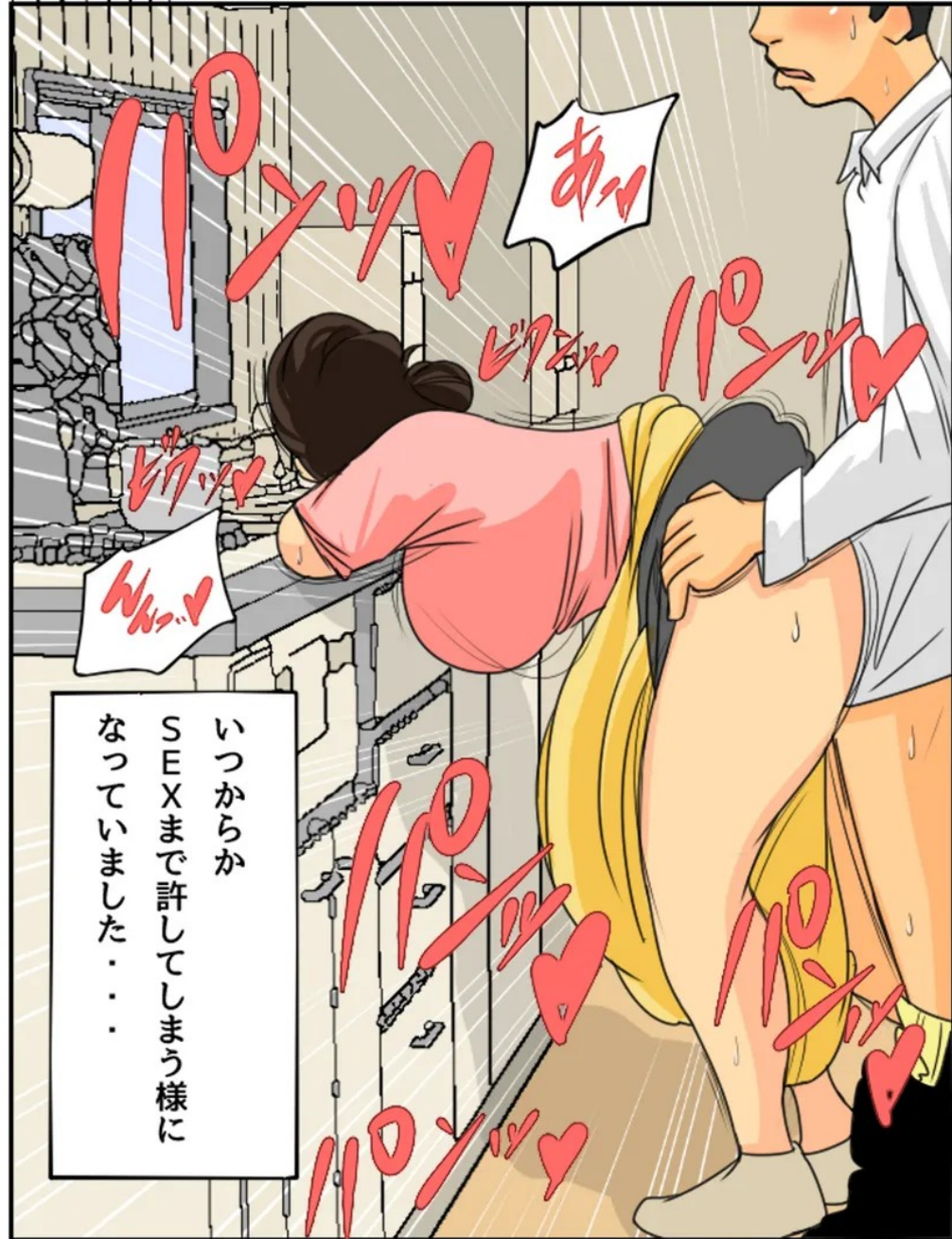
もうこの子は・

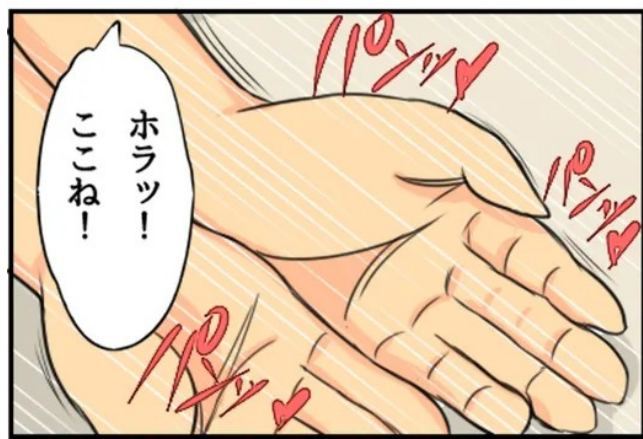
本当はお母さんがすることじゃないんだからねねえ・聞いてる？

かわいい我が子に泣きつかれるとついついわがままを聞いてしまいオナニーを手伝っていました

気付けばそんな毎日が何年も続き・







台所でやる場合は必ず
私の手に出す様になっています

以前は床やお尻にかけさせたり
していました

まあ…
今日も濃いのが
たくさん出たわね

ん…
まあね…

息子の精子の量は
かなり多く後処理が
大変だったので
手に出させる様
になりました

俺二階に
いるから

はい
ヘッドホンとか
しないでね

その後はまた何事も
無かったように夕飯の
支度を続けます

息子の性欲は
昔から人一倍強く

夕食を済ませ
お風呂から上がった
からの時間も抜いて
あげています

ここちちゃんと
洗ってきた？

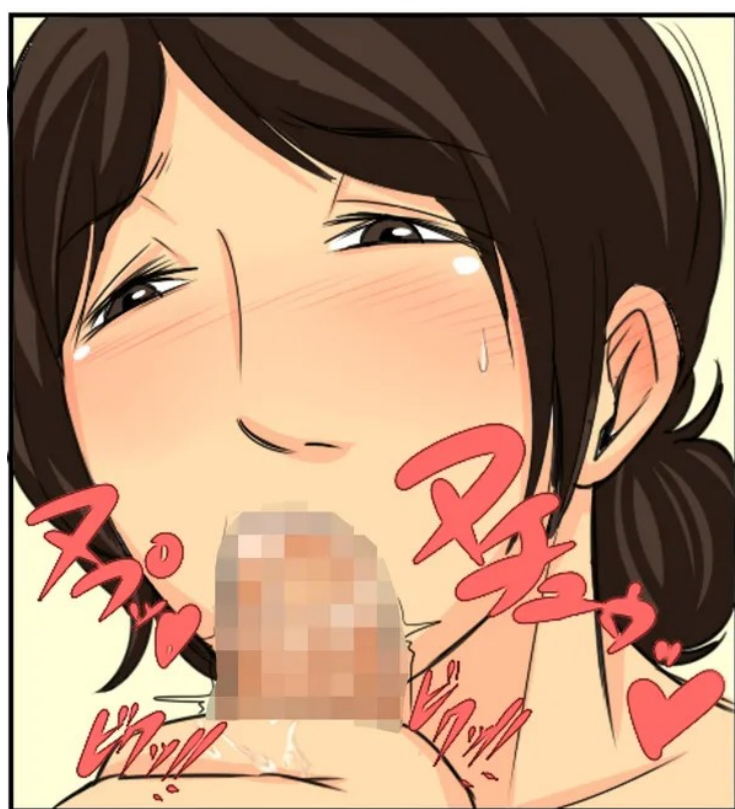
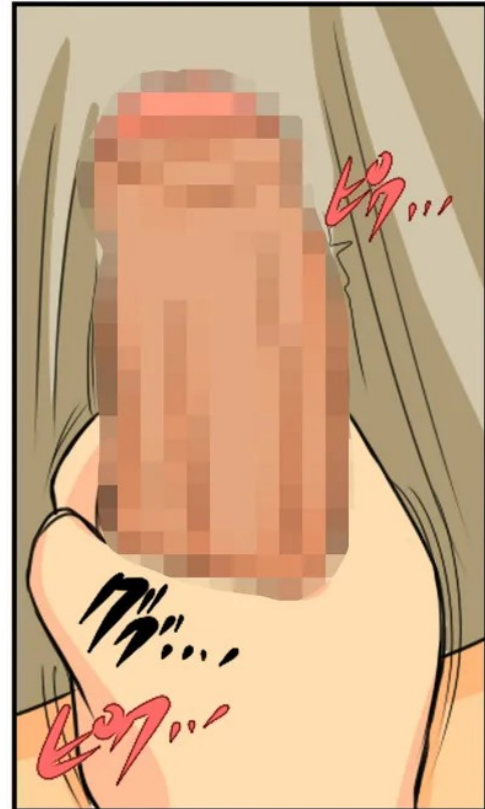
うん

どうすんの？
口で良いの？

え・あ・
うん・

はいはい
口ね

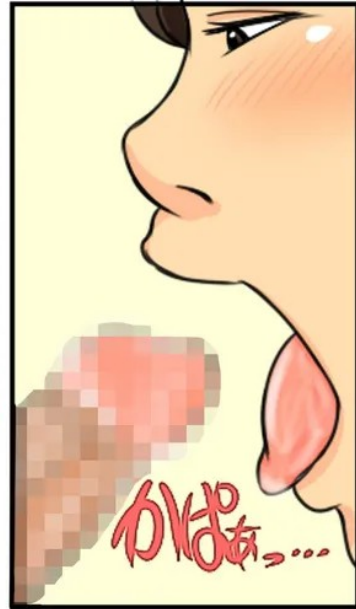
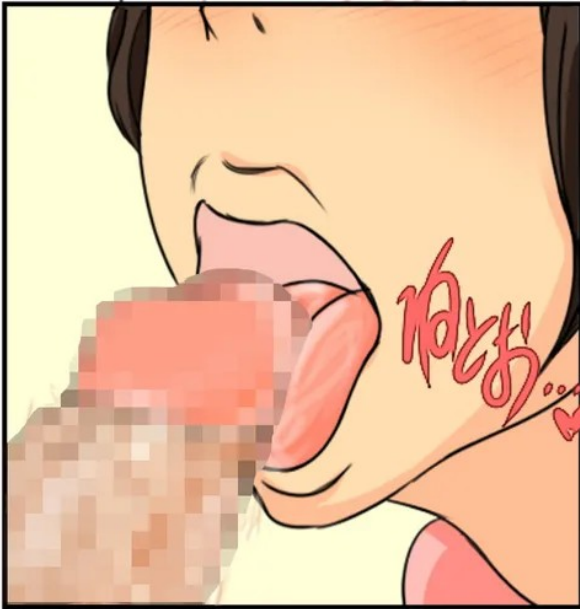
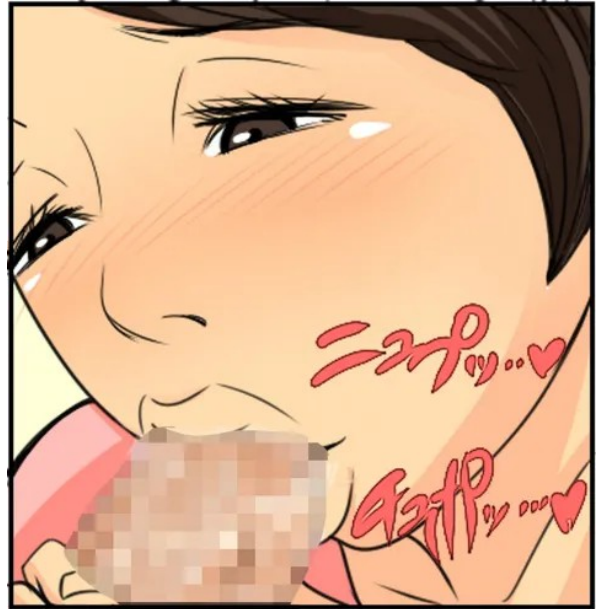
手か口かアソコか・
どう抜いてほしいかまず
聞いて息子の好きな方で
抜いてあげています

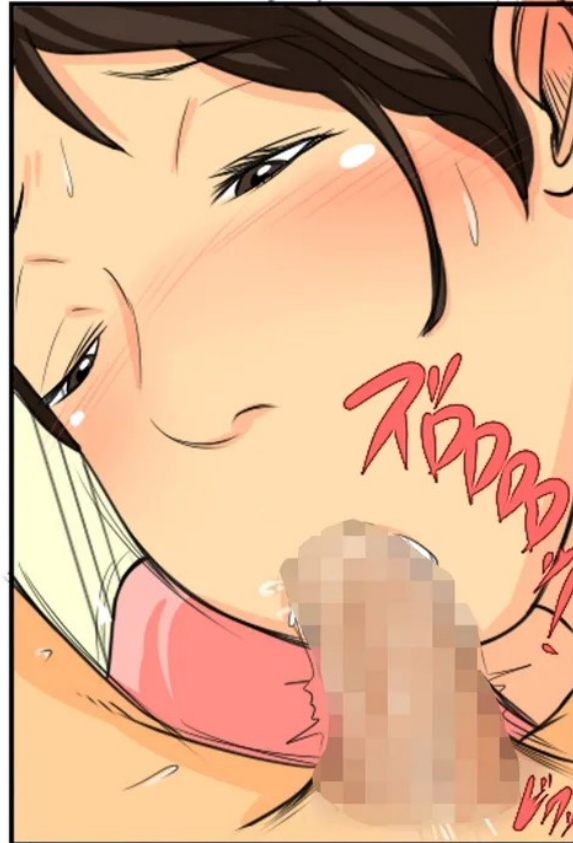
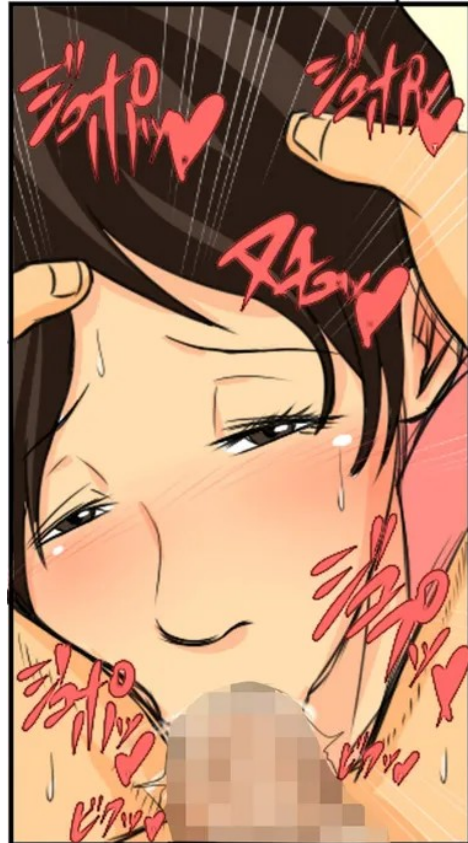


息子はフェラチオが好きなので
特に包皮を剥いて口に含む
最初の瞬間が楽しみなんだそうです



なので最初は舌を使いながら
ゆっくりねちつく
頬張る様にしています





行為中に息子は
女の子の名前を出す事が
良くあります

ゆみちゃん!!

ああ!!

ぐわんぐわん!!

ぐわんぐわん!!

ぐわんぐわん!!

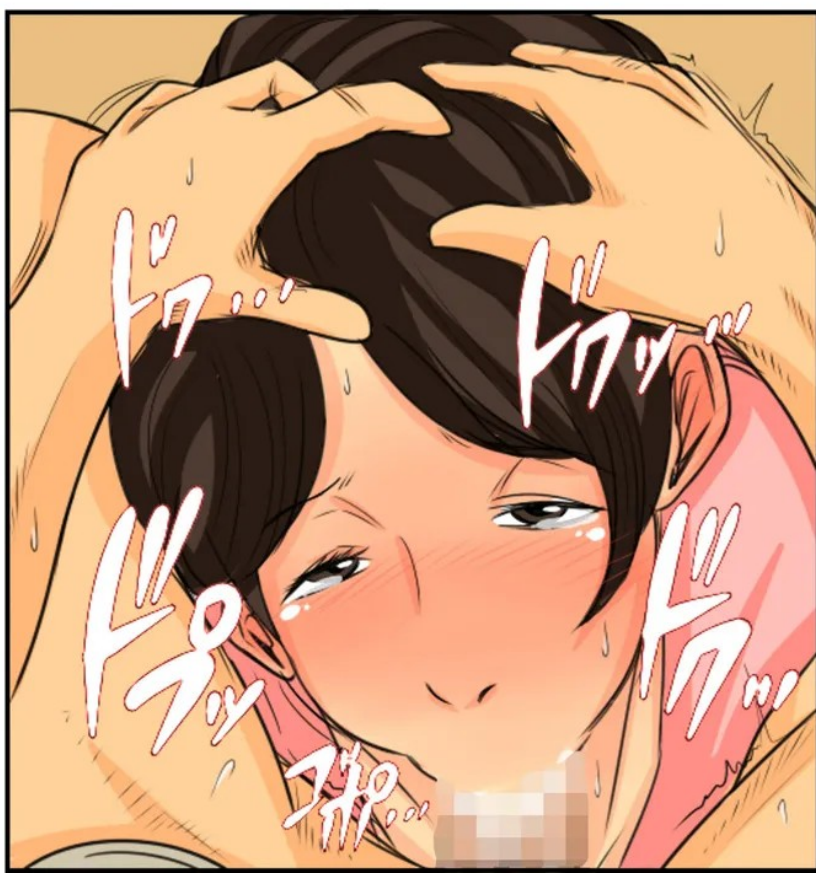
ぐわんぐわん!!

好きなクラスメートを
思い浮かべてるんだと
思いますが彼女ができた事は
今まで一度も無いみたいです

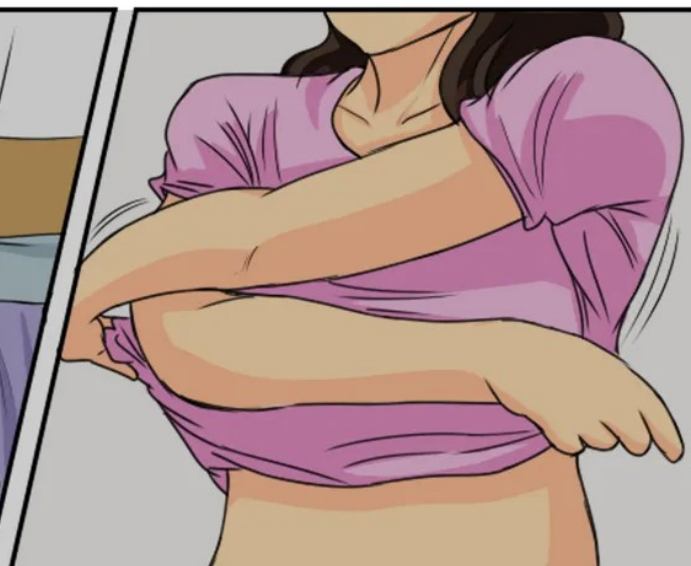
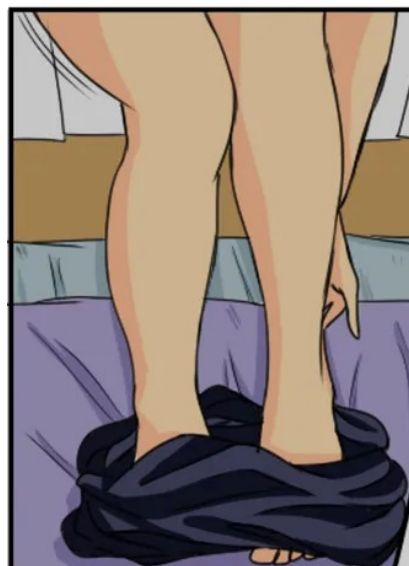
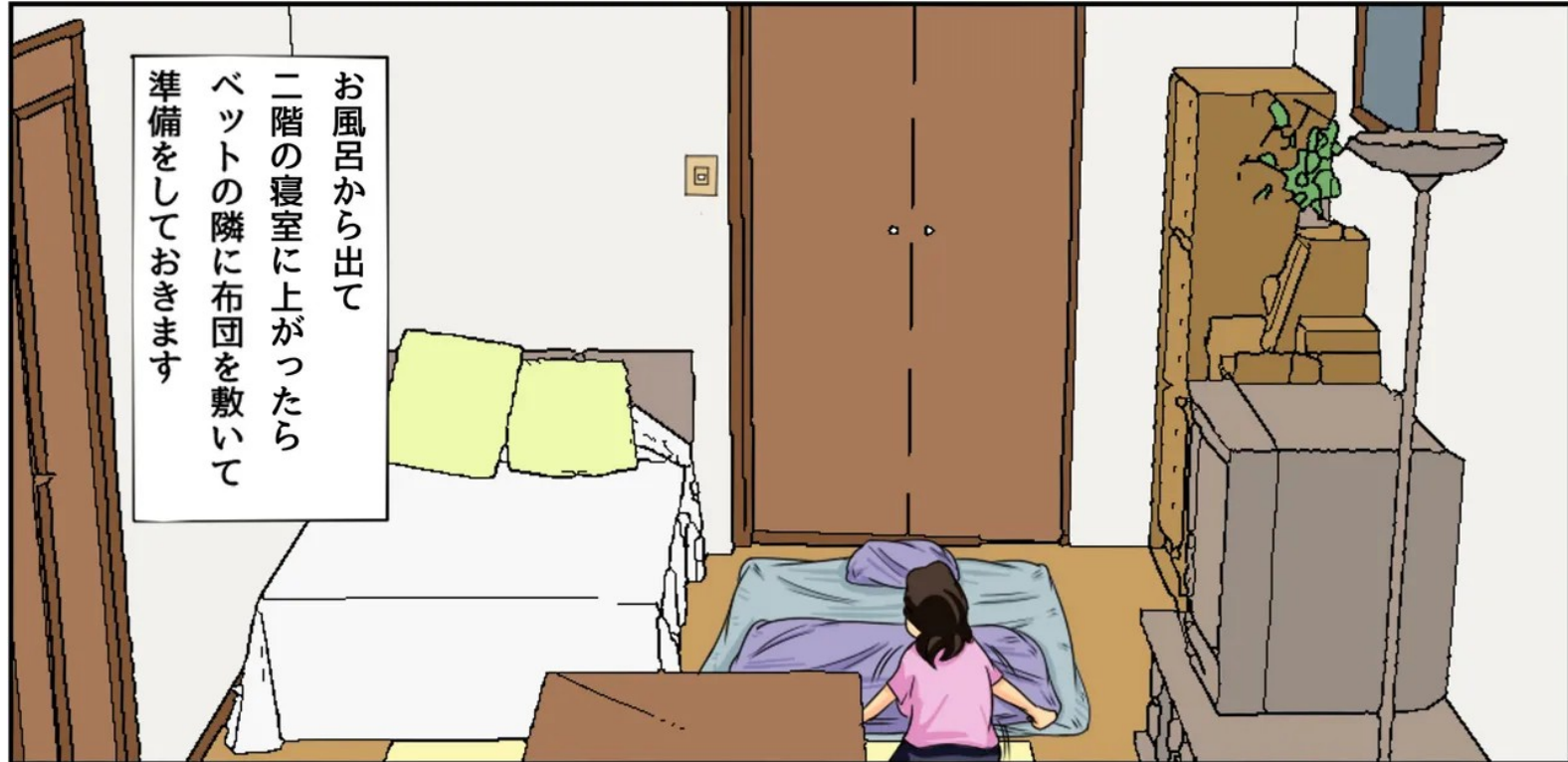
用が済むと息子は
二階に上がります

驚かれるかも
しれませんが

一日の性処理は
これで終わりでは
ありません



お風呂から出て
二階の寝室に上がったなら
ベットの隣に布団を敷いて
準備をしておきます



そして寝室の扉が
静かに開かれます・



電気を消してしばらくすると
息子が自分の部屋からこちらに
向かってくる音が聞こえてきます

息子はすでに裸でアソコを
勃起させた状態で寝室に
入ってきます

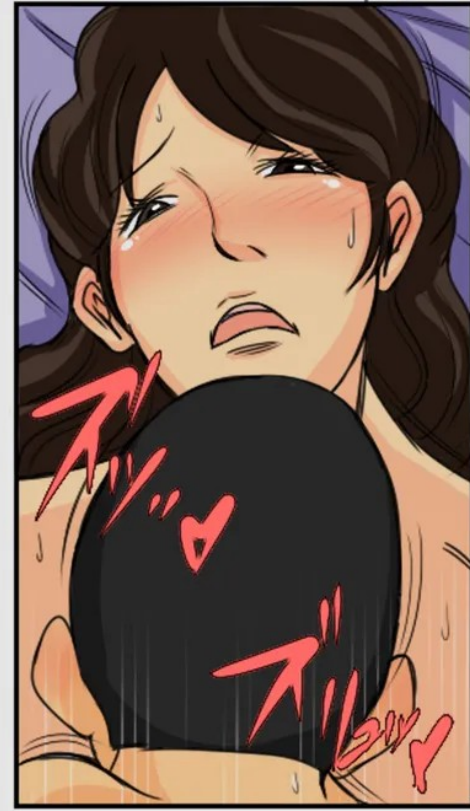
私も裸のまま
息子を布団に
迎え入れます

布団に入ると
前戯もなくそのまま
挿入してきます

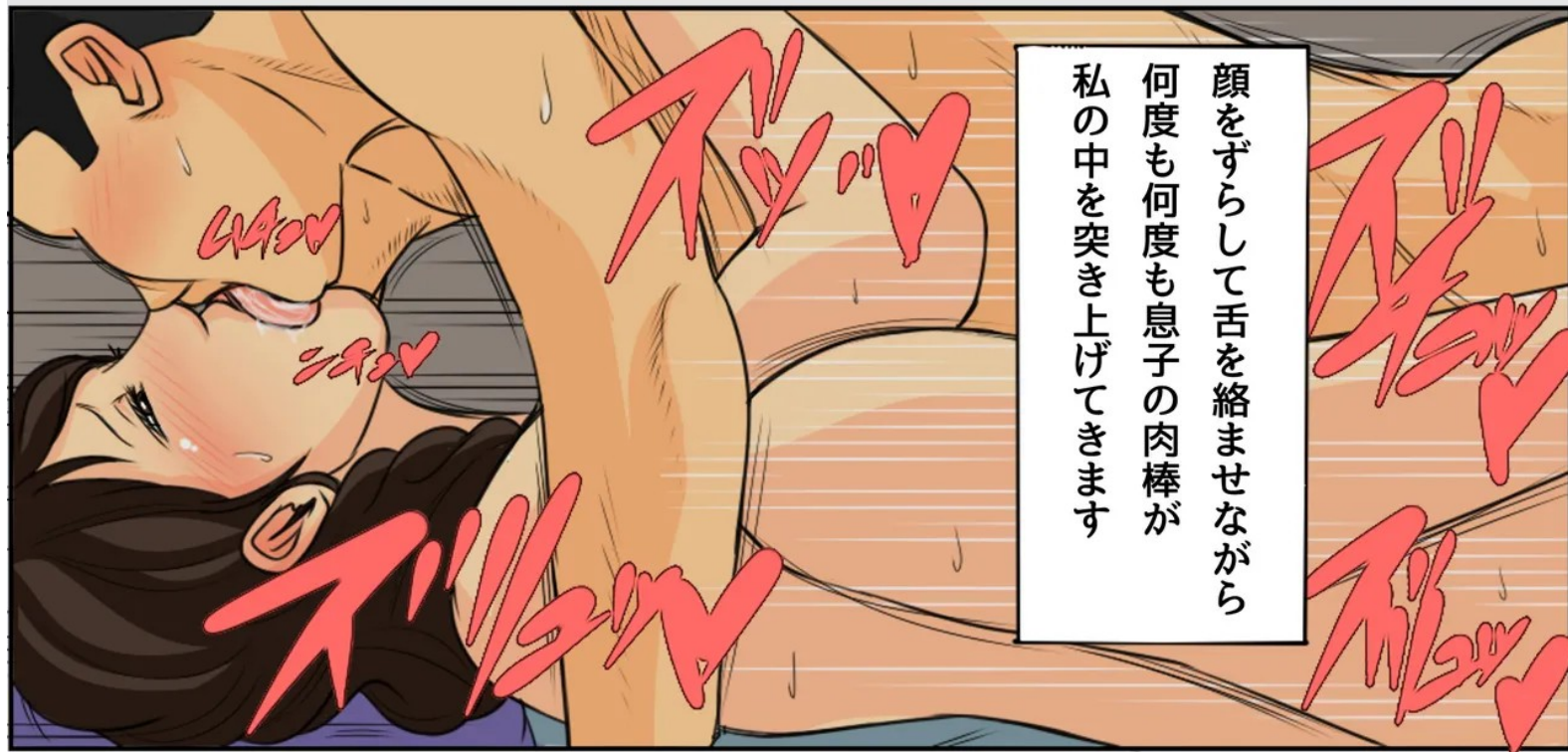
あっ

もうこれが日課になって
いるのでこの間に会話は
一切ありません

挿れてすぐ息子は思いきり
濃厚なキスを求めてきます



顔をずらして舌を絡ませながら
何度も何度も息子の肉棒が
私の中を突き上げてきます



薄暗い部屋の中で
親子をつなぐイヤらしい音
だけが響き渡ります





この時の息子は挿入してすぐ
かなり激しく腰を動かすので
3分ともたず射精します



最初の内こそ

バックやら騎乗位やらと
色々やりたい体位を
要求してきましたが

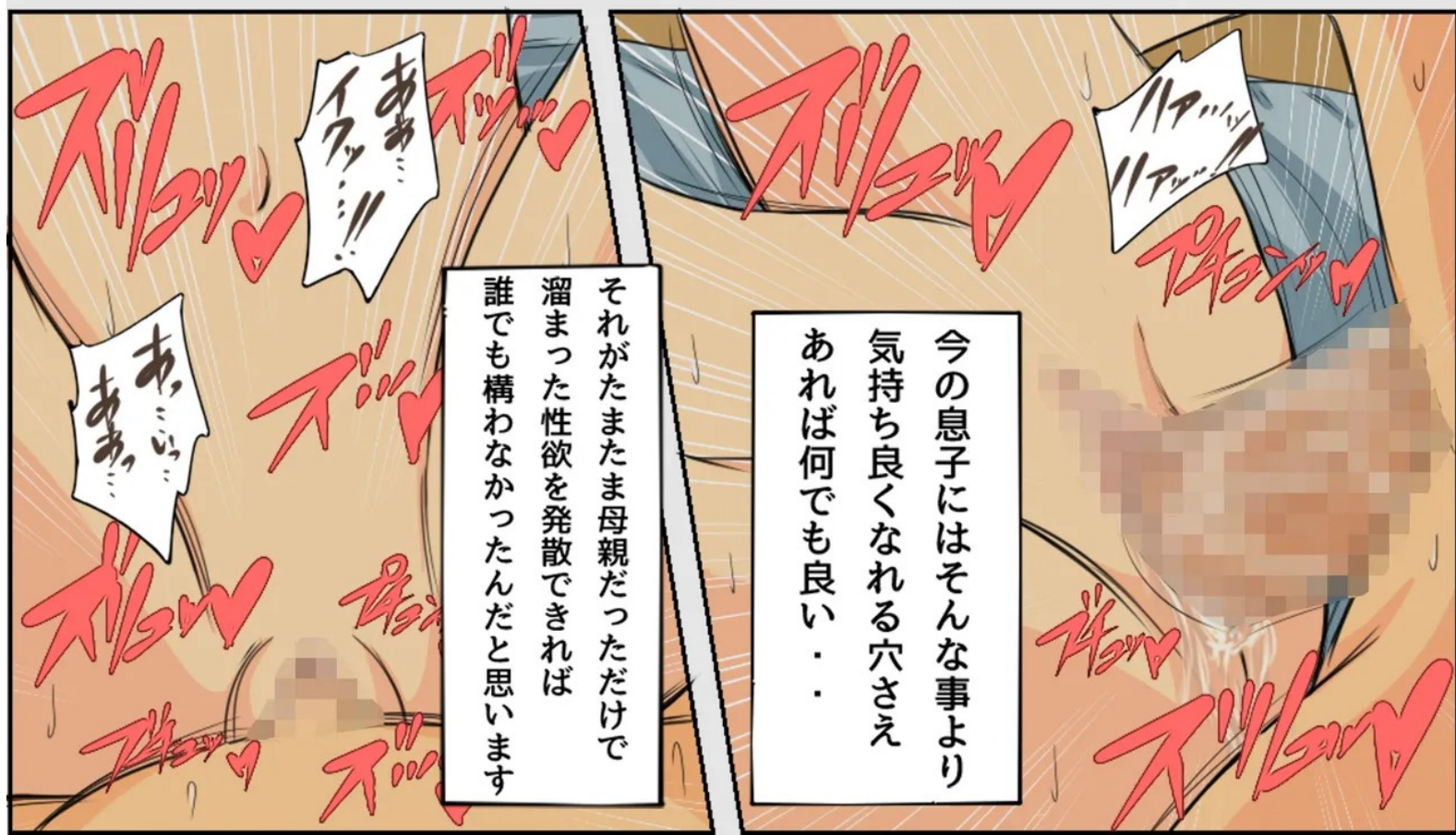
最近は正常位のみで
色々おねだりしてくる事も
なくなりました
溜まった性欲を発散させる
ためだけにきていると
いった感じです



毎日飽きもしないで私を抱きにくる息子にそんな疑問を感じたこともありましたが



こんなおばさんの身体の何が良いのかしら・・・



今の息子にはそんな事より気持ち良くなれる穴さえあれば何でも良い・・・

それがたまたま母親だったただで溜まった性欲を発散できれば誰でも構わなかったんだと思います

そんな抑えきれない性欲を
毎日のようにぶつけられる
日々を送っていると

この異常な関係に
疑問や背徳感を
感じなくなってきました

中出しも初めは
拒んでいましたが

いつの日からか当然の様に
中に出される様になりました

これで今日三度目の発射ですが
中出し後は膣内から精液が
大量に溢れ出してきます

普段はこれで終わりますが
まだ出し切らないのか
射精後も息子の勃起が
おさまらない時が
たまにあります

そんな時は抜かないまま
二回戦目に突入です

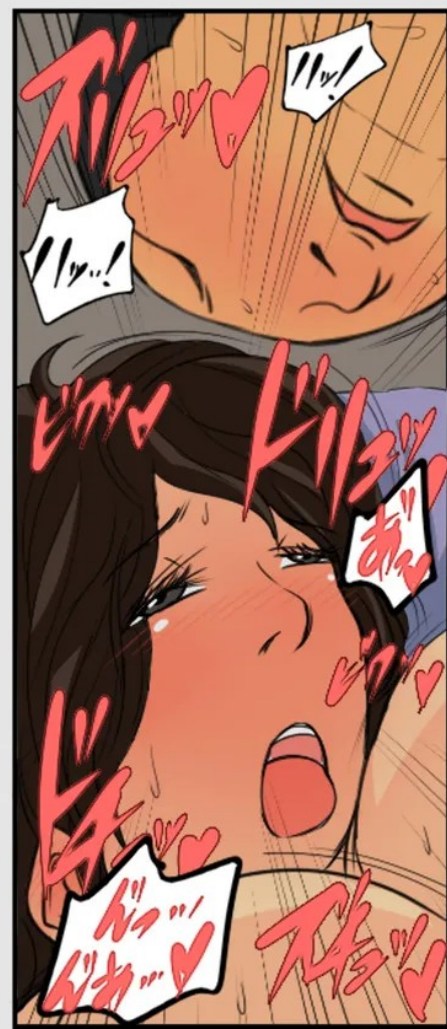
私の愛液と息子の精子が
絡み合って突かれるたびに
下品な音が聞こえてきます

あ・今日
二回するんだ・

息子は残った精子を出し切ろうと
激しく腰を打ちつけてくるので
私もつついっい声をあげてしまいます



二回目ともなるとお互いに
汗や汁でもうグチャグチャです
毎回布団を敷くのはこの為です

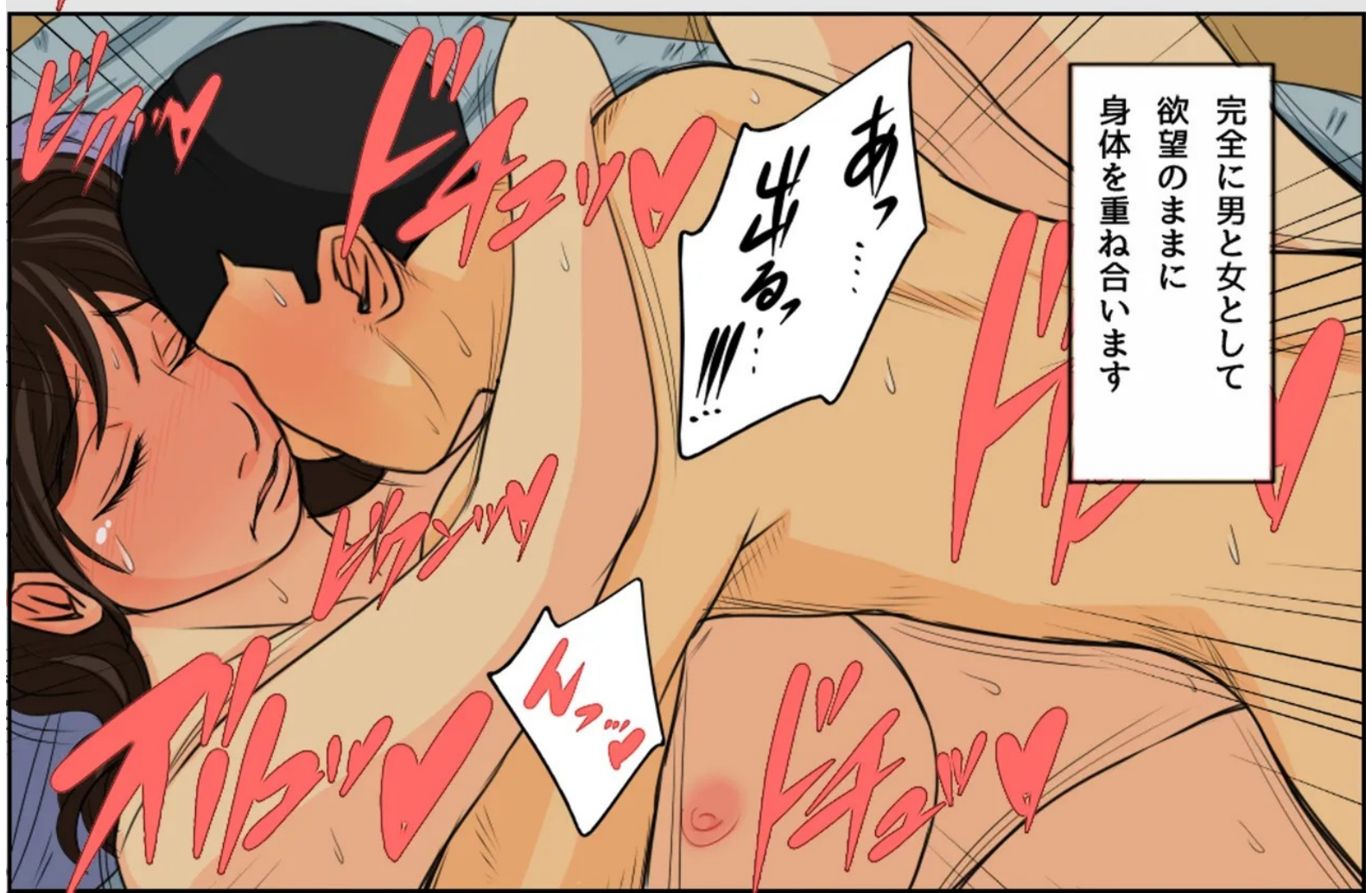




まるで繁殖期の猿の様に
何度も何度もピストンを
繰り返す息子・・・

大量の愛液と我慢汁が
膣内で絡み合い快感も
更に増していきます

この時はもう母と息子の
関係ではなく



完全に男と女として
欲望のままに
身体を重ね合います



私の膣内で息子のペニスが
ドクドクと脈打つのを感じながら
二度目の中出しでようやく
息子の性欲もおさまります

事を済ますと一転して
親子の何気ない会話に
戻っています

部屋にタオルあるから
一回身体拭いてから
布団入りなさいよ
前そのまま寝たでしょ

それかもう一回
シャワー浴びる？

いやタオル
使うからいい

息子に彼女ができるまでと
割りきってやっている
つもりですが・

明日も早いんだから
さっさと寝なさいよ

はい
おやすみ

おやすみ

ああ・
さとみちゃん・！

また名前
変わってる・

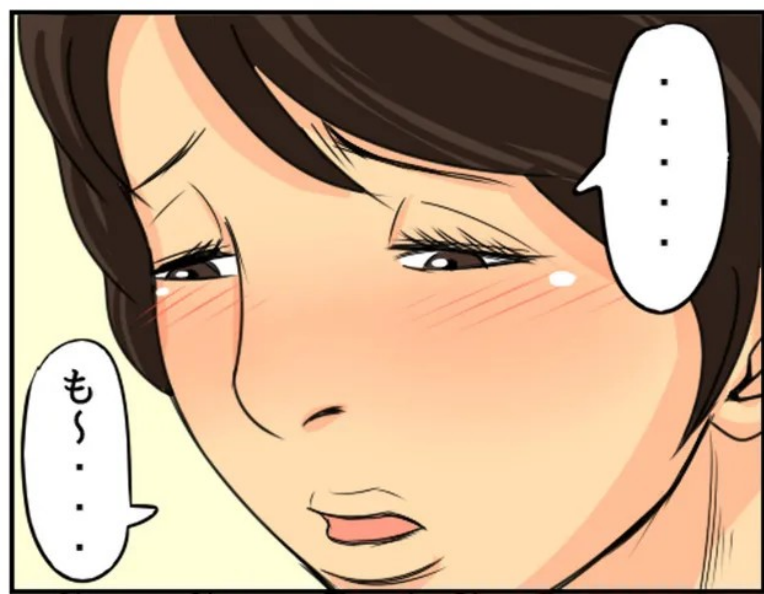
もうしばらくは
この関係が続きそうです

ある日の朝・

チュン...

チュン...





息子の朝勃ちがひどい場合
朝からやらせてあげています

ほらっ

ここを出しなさい

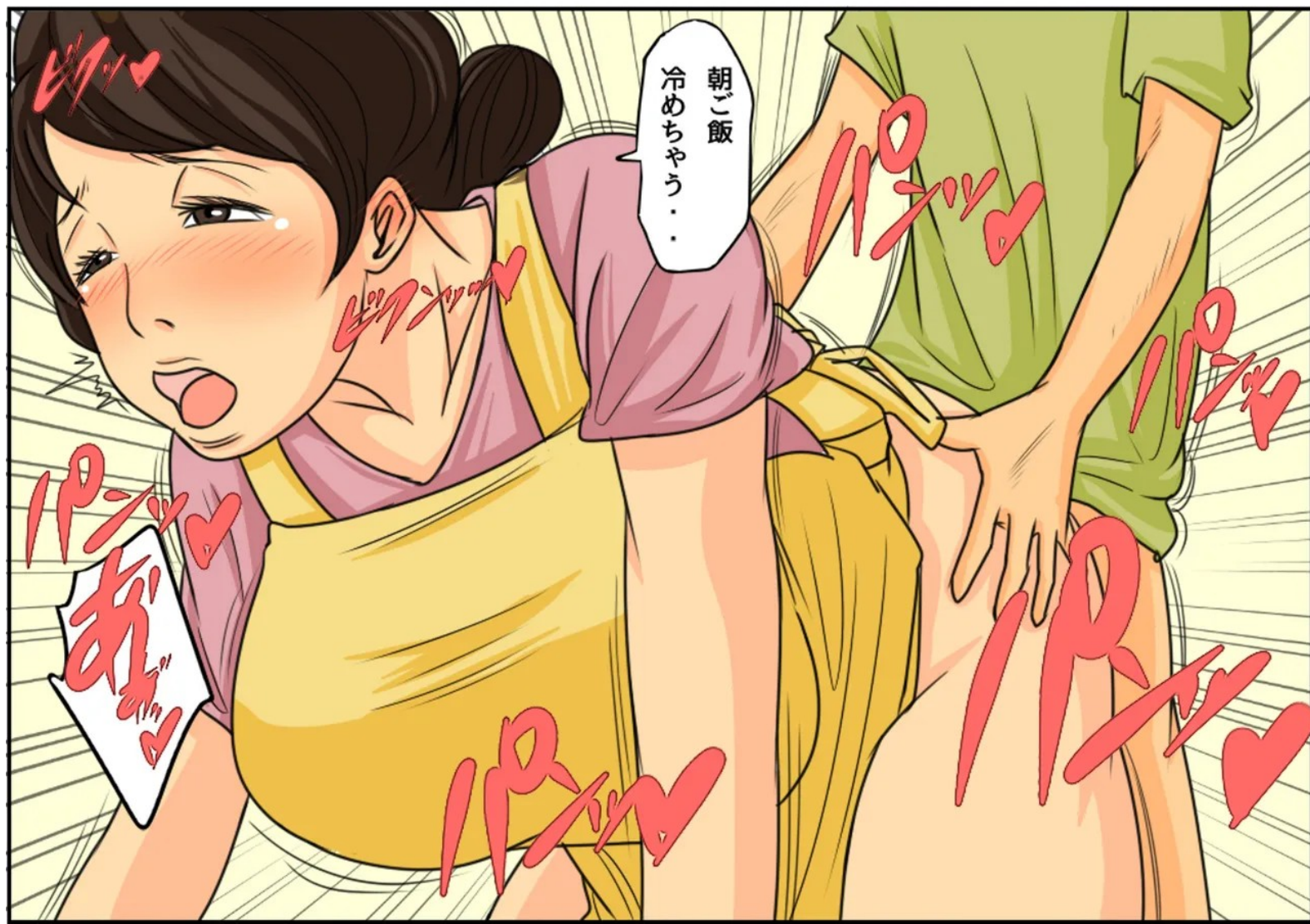
む

ちっ♡

あゝ!!

ズグッ!!

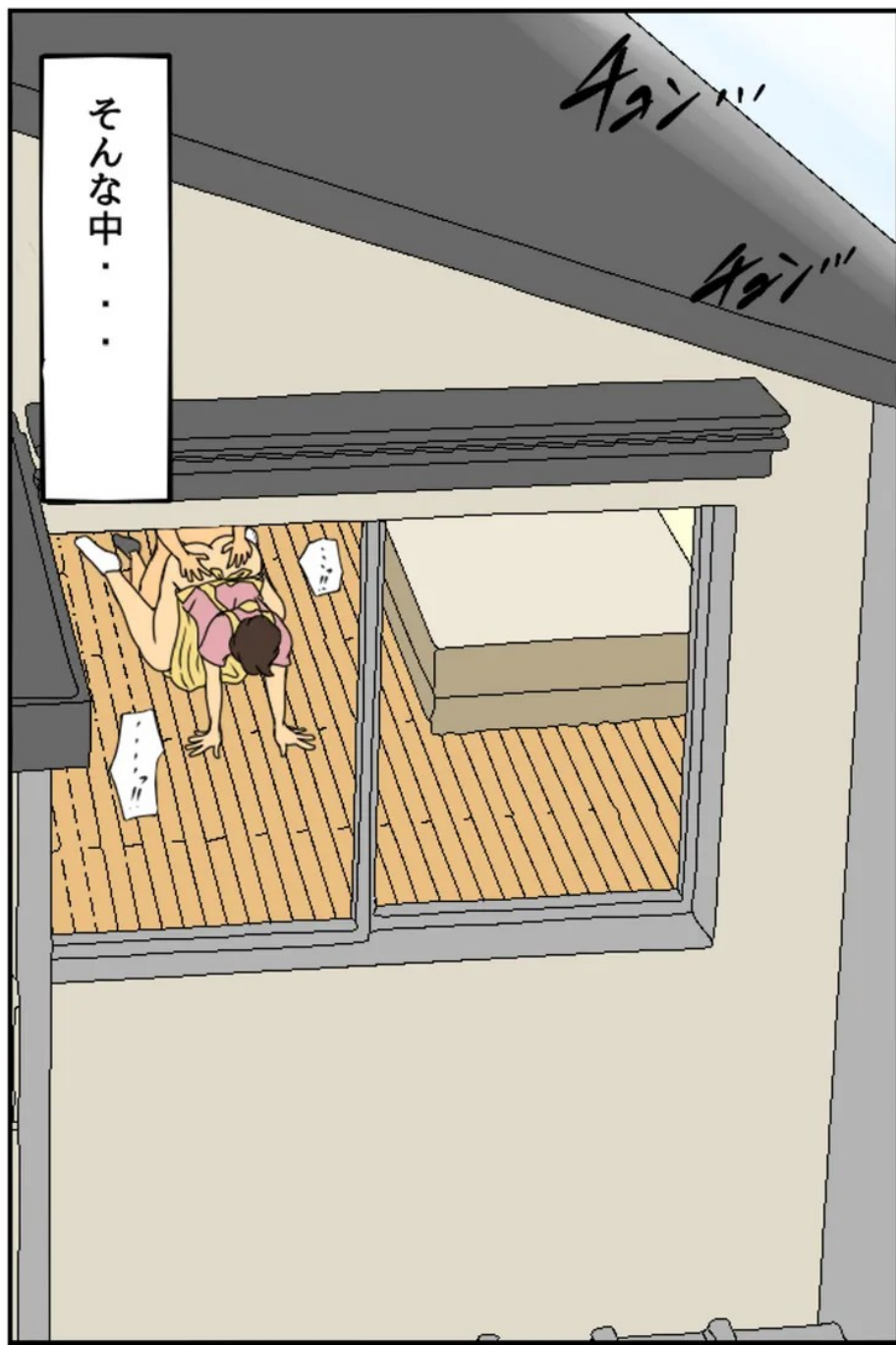
ったくもう・・・
下ばっかり元気に
させちゃって・・・



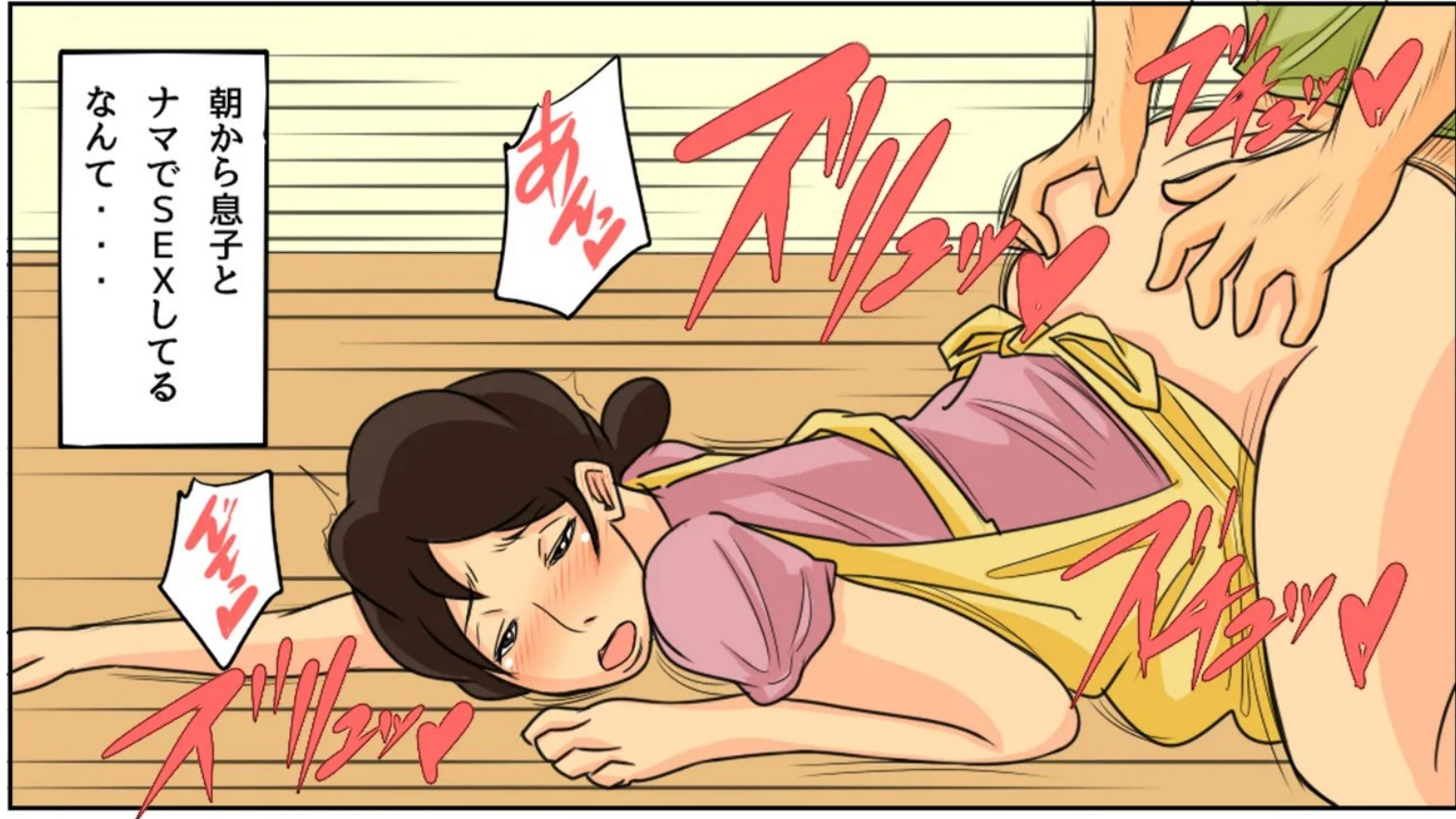
444...

朝のこの時間、窓の外から
通学中の子達の声が聞こえます

キヤキヤ...



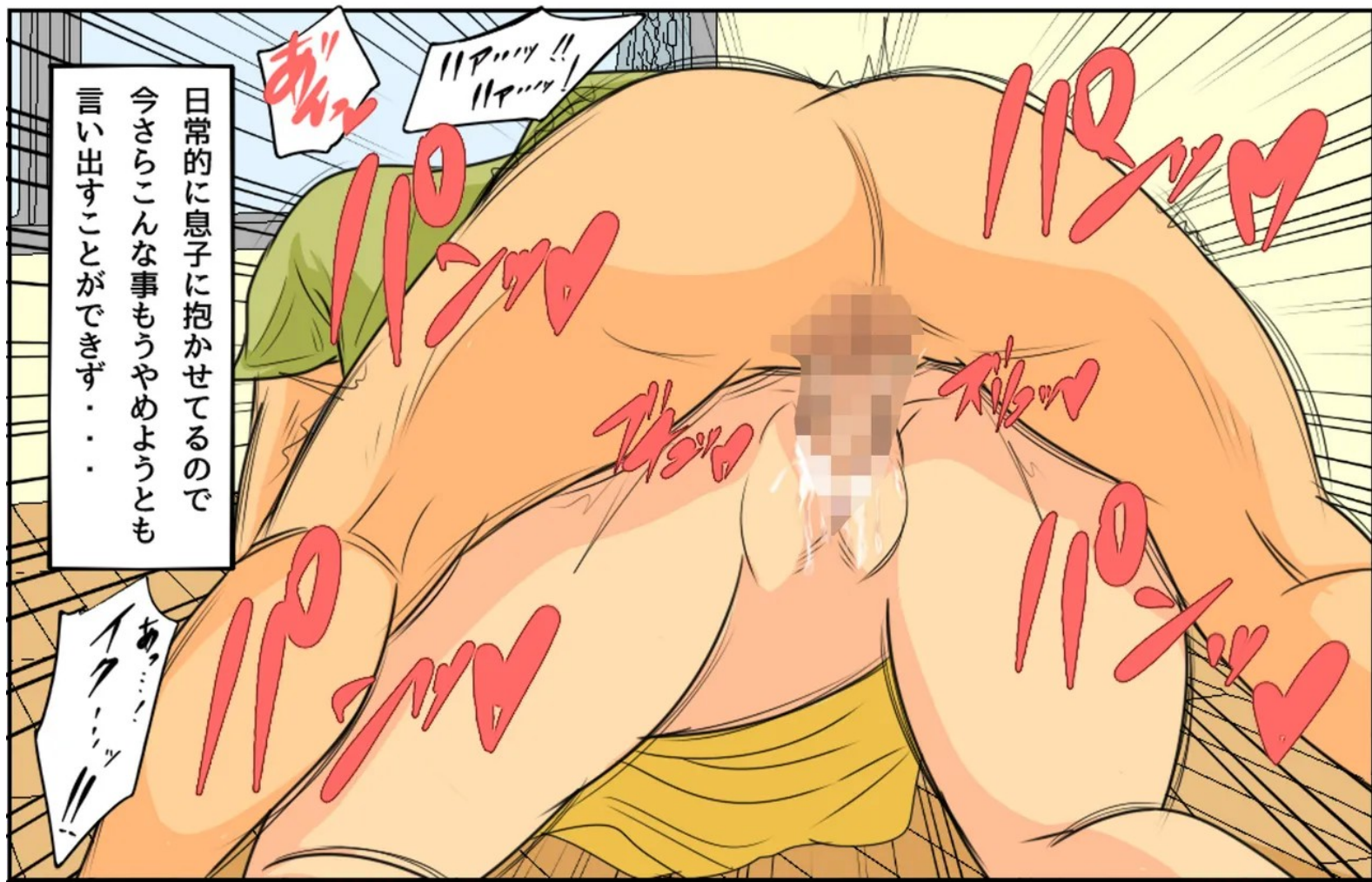
朝から息子と
ナマでSEXしてる
なんて・・・

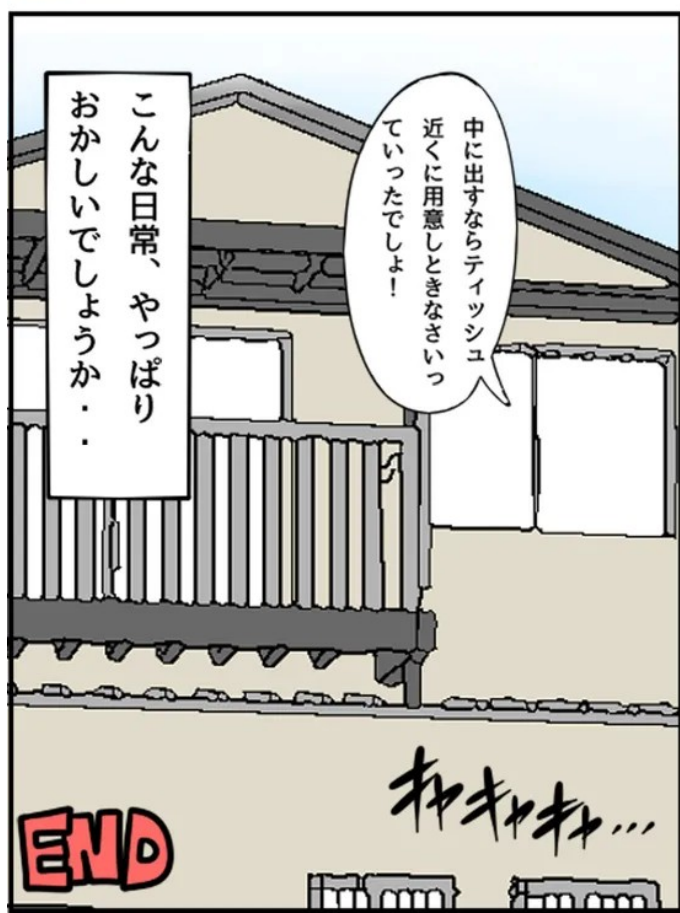
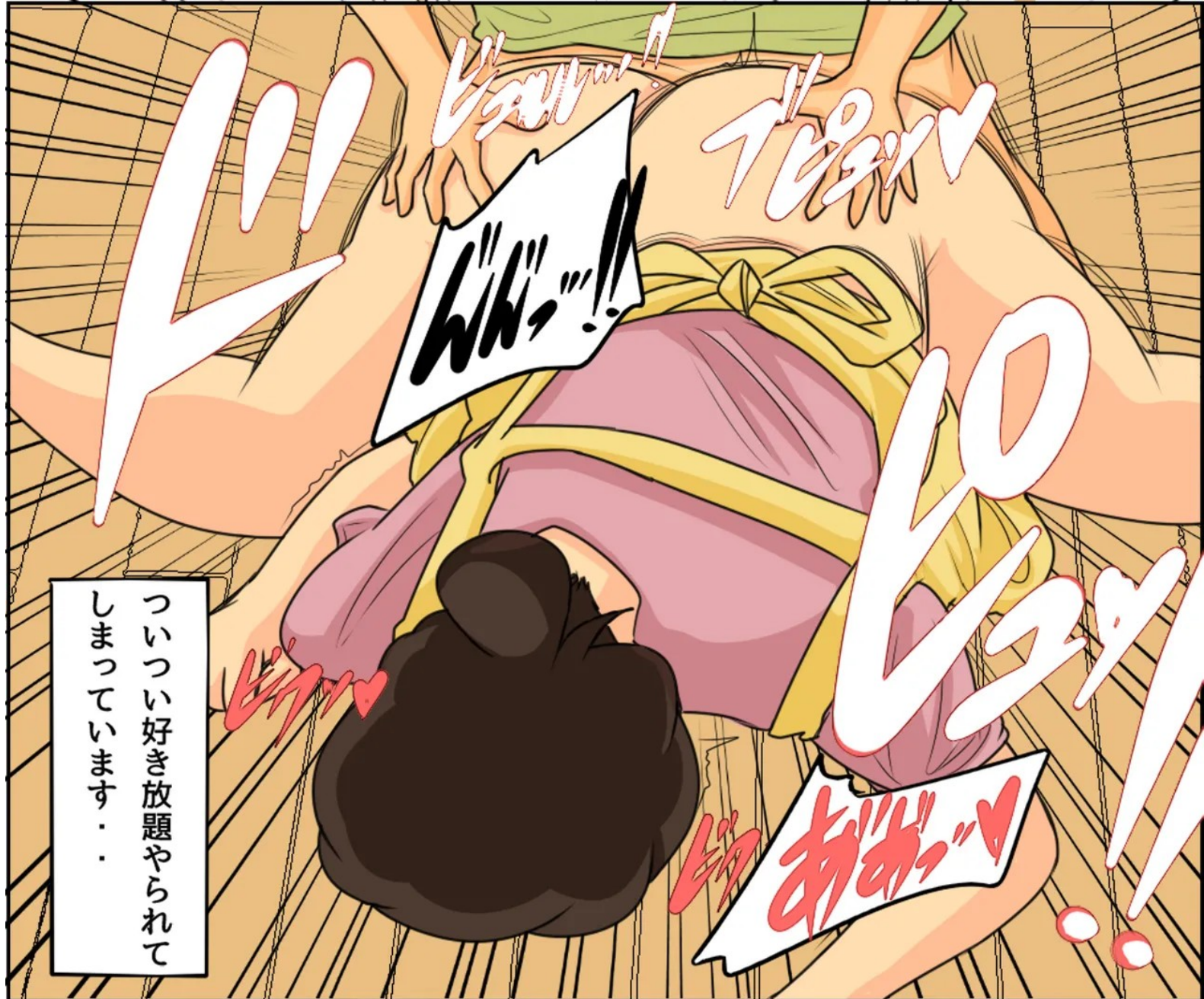


もう・・・
母親だろうが関係
なく発情するん
だから・・・



日常的に息子に抱かせてるので
今さらこんな事もうやめようとも
言い出すことができず・・・





※ お断り

本作の一部、または全てを無断で
複製・転載・流用・転売・複写等することを一切禁じます。

この作品はフィクションです。
実在の人物・団体・事件などには
一切関係ありません。